

日本臨床スポーツ医学会
平成 23 年度 第 1 回理事会議事録

日時：平成 23 年 11 月 4 日（金）16：00～18：00

場所：ホテル青森 3 階 「あすなろ」

出席者：【理事】浅井利夫、川原 貴、黒坂昌弘、河野一郎、坂本静男
帖佐悦男、藤 哲、飛松好子、福林 徹、馬場礼三、
藤本繁夫、増島 篤、松本秀男、水田博志、武者春樹
宗田 大、目崎 登、安井利一、山澤文裕、吉矢晋一
渡會公治

【監事】 齊藤明義、牧田 茂

【事務局】 武藤圭子、内田三津子

（敬称略、50音順）

－ 議 事 －

I. 理事長挨拶

福林 徹理事長より挨拶があった。

II. 第 22 回学術集会 会長挨拶

藤 哲会長より挨拶があった。

III. 平成 22 年度活動報告

1. 学会員数報告

下記の通り学会員数及び退会者数が報告された。

【学会員数】平成 23 年 9 月 30 日現在

名誉会員	28 名	
会 員	2,367 名	（内 新入会者 83 名）
准 会 員	985 名	（内 新入会者 161 名）
購読会員	8 名	（内 新入会者 2 名）

合 計 3,360 名 （内 新入会者 246 名）

【退会者数】平成22年10月1日～平成23年9月30日まで

会 員	116名	(内 3年滞納による退会 54名)
准 会 員	31名	(内 3年滞納による退会 15名)
名誉会員	1名	

合 計 147名 (内 3年滞納による退会 69名)

2. 会計報告

平成22年度の会計報告がされた。

予算案と決算の金額の間に大幅な違いはない、年会費の徴収が順調にいき年会費収入が1割増えた。

牧田監事より石原会計士と適正に運営されていることを確認、今後の課題として将来の法人化に向け学術集会としての収支を明らかにすることを助言された。

3. 各委員会報告

1) 学術委員会

平成22年度の各部会報告がされた。

2) 編集委員会

平成22年度の学会誌への論文投稿状況の説明があった。

学会誌の担当がこれまでの文光堂から杏林舎に変わったことが報告された。

3) 資格審査委員会

平成22年度は、188名の准会員入会希望者の資格審査を実施した。

学術集会発表者だから入会を認めるのではなく資格がある人を発表者として認めることや共同演者のための臨時会員制度などの論議が引き続きの検討課題となった。

4) 学会賞選考委員会

以下の通り、平成22年度の学会賞受賞者が報告された。(敬称略)

(整形外科領域)

論文名： 「当院における前足部疲労骨折の発生部位の特徴と早期発見、早期復帰のための検討」

受賞者： 能 由美 (医療法人いまむら整形外科医院)

(内科領域)

論文名： 「トップアスリートに対する気道可逆性試験におけるサルブタモール追加吸入の有用性」

受賞者： 小松 孝行 (順天堂大学医学部附属練馬病院)

(その他の領域)

論文名： 「高地トレーニング中のコンディション評価のための問診票の有用

性と高地トレーニング経験がコンディションに及ぼす影響」

受賞者： 渡部 厚一 (筑波大学大学院人間総合科学研究科)

4. 学会発表者の入会状況について

今回の学会発表者の入会状況について、未入会者が11名おり、学会発表までに入会してもらうことが報告された。

5. 中央教育審議会スポーツ・青少年分科会に対する提言

福林理事長が各学術委員会の部会長から意見を聞き、参考意見としてまとめていくことを確認する。

6. 法人化検討委員会の報告

委員の増員、予算などが報告され専門医制度委員会と協力していくことが報告された。

9月5日法人化検討委員会が開催され、新委員3人が招聘されたこと、法人化の必要性及び法人化の財政の裏付けなどの維持管理、法人化の形態の確認、定款を作る作業などの役割分担が討議されたことが報告された。

法人化委員長が浅井理事から山澤理事に変更することを確認された。

7. 専門医制度検討委員会報告

現状のスポーツドクター制度は日本体育協会、日本整形外科学会、日本医師会の3本立てになっている、専門医制度を立ち上げていくには日本臨床スポーツ医学会員がどのくらいスポーツドクターの資格を持っているか確認することが必要。

IV. 平成23年度活動予定及び審議事項

1. 平成23年度予算 (別記)

平成23年度の予算案が報告された。

学術集会の会計報告を次期の学会より報告することとした。

2. 各種委員会活動予定

1) 学術委員会

①第7回学生のための医学セミナーについて
セミナーの内容について報告された。

②第8回学生のための医学セミナーについて
6月か10月の開催の予定で進めていることが報告された。

③2012年公開シンポジウムについて

日 時：平成24年1月28日 14:00～17:00

会 場：東京ステーションコンファレンス

テ ー マ： 「ジュニア・アスリートのためのスポーツ外傷予防～
トップ・アスリートの経験をもとに～」

主 催： 日本臨床スポーツ医学会

参加費： 無料 (定員 220 名・先着順)

【司 会】

奥脇 透 (国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部)

【講 師】

1. 「トップ・アスリートにおけるスポーツ外傷発生調査」

1) サッカー：池田 浩 (順天堂大学整形外科・スポーツ診療科 准教授)

バスケットボール： 三木 英之 (平塚共済病院整形外科 部長)

2. 中高生の部活動における外傷発生調査」

奥脇 透 (国立スポーツ科学センタースポーツ医学研究部)

3. ジュニア・アスリートに対するスポーツ外傷予防への取り組み」

サッカー：加藤 晴康 (立教大学コミュニティ福祉学部スポーツ
ウエルネス学科 准教授)

バスケットボール：日本バスケットボール協会

2) 資格審査委員会

①准会員から会員への申請が 1 名あり、承認された。

4. 第 23 回学術集会について

日 時：平成 24 年 11 月 3 日 (土)・4 日 (日)

会 場：新横浜プリンスホテル

会 長：松本秀男 理事 (慶応義塾大学)

テーマ 「スポーツ医学の identity の確立に向けて」

5. 第 24 回学術集会について

水田博志理事 (熊本大学)

日 時：平成 25 年 11 月 2 日 (土)・3 日 (日) 検討中

会 場：熊本で検討中

6. 第 25 回学術集会について

川原 貴理事 (国立スポーツ科学センター) が会長に推薦され、承認された。

7. その他

①選挙管理委員長選出について

山澤文裕理事が推薦され、承認された。

②学会賞選考方法について

各分野ごとの論文数に大きな差があり、公平性の担保について協議されたが、
次回はとりあえず現状のまま、各分野から選考すること確認された。

③脳外科部会のガイドライン HP 掲載について

脳震盪のガイドラインを学会の HP に載せる案が討論され、総務委員会で相談し
ホームページに載せる方向で検討することとした。また、页数によっては学会

誌にも載せることを検討する。